

先天性大脳白質形成不全症の克服へ向けて

第7回市民公開セミナー

テーマ：疾患の理解をめざす

先天性大脳白質形成不全症は、ペリツェウス・メルツバッハー病などの稀ながら重度の障害を伴う小児難治性神経疾患です。今回初めて関西地区でセミナーを開催いたします。7回目となる今回のセミナーでは、先天性大脳白質形成不全症とは一体どのような病気なのか、どのように診断するのか、そして治療法開発に向けた研究はどのように進んでいるのか、について分かりやすく解説いたします。

日時 平成26年11月3日(祝)

受付：13時～ 講演：13時30分～

場所 大阪府立 稲スポーツセンター 会議室

大阪府箕面市稲6-15-26 TEL: 072-728-4822

【教育講演】

- 先天性大脳白質形成不全症ってどんな病気？

自治医科大学 小児科 小坂 仁

- 先天性大脳白質形成不全症の画像診断

東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 高梨潤一

- 先天性大脳白質形成不全症の治療研究の現状

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 井上 健

【質問コーナー】

お子様の病気に関してのご質問やお困りの点などについても講演者がお答えします。

【親の会連絡会】

先天性大脳白質形成不全症の親の会からの説明と連絡です。

主催 先天性大脳白質形成不全症リサーチ・ネットワーク

代表研究者 井上 健 (<http://kcmc.jp/pmd/index.html>)

連絡先 国立精神・神経医療研究センター病院 遺伝カウンセリング室

杉本立夏 (すぎもととはるか) (iden@ncnp.go.jp)

参加希望者は上記までメールにて事前登録(締め切り9月30日)をお願いします。情報は上記ウェブサイトにもアップいたします。

セミナーへの参加費は無料です。

本セミナーは厚労科研費「遺伝性髄鞘形成不全の病態に基づく革新的な治療法の開発のための研究」によって行われます。

